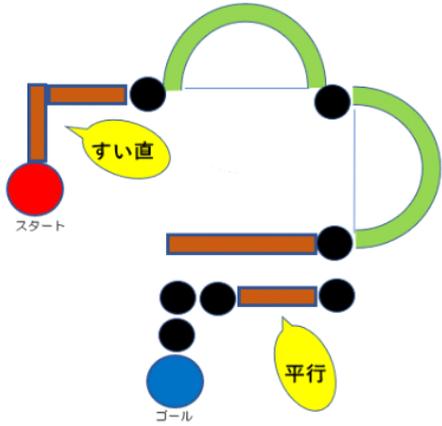
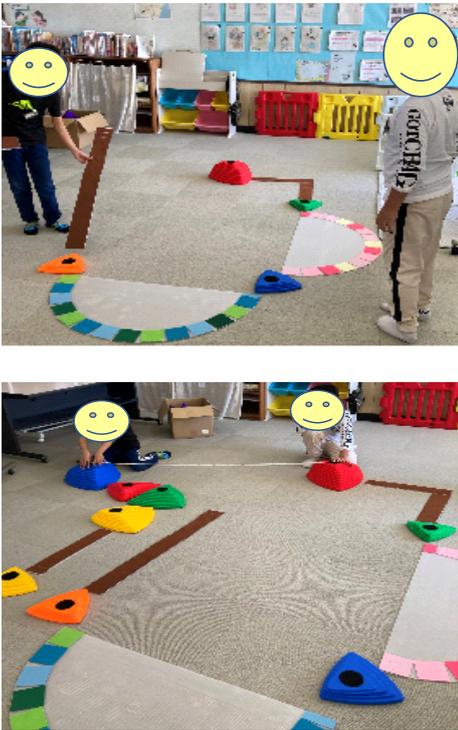


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 測定&トレーニングコース</p>	<p>【学校名】 日立市立宮田小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 ・身体バランス、姿勢保持 ・測定器具操作活動(巻き尺・ストップウォッチ) ・算数(道のりと距離、円、平行と垂直、時間など)</p>	<p>【制作者名】 芳賀 早苗</p>
<p>【制作の意図】 ・直線や曲線、高低差のあるコースを歩行する中で、体幹を使った動きに慣れ親しむことができる。 ・協働活動を通して、他者を意識しながら測定をすることができる。 ・距離や道のり、平行や垂直などを紙面上だけでなく、身近に体感できる。</p>	<p>【使用の方法】 ・提示した縮図を再現したり、自由に考えたりしてコースを作成し、歩行する。 ・スタートとゴールの距離や道のりを、巻き尺や物差しで測定し、計算する。 ・パーツを平行や垂直に置いたり、円の直径や円周の測定や計算をしたりなど、応用する。</p>
<p>【制作上の工夫】 ・パーツを踏み心地の良い素材で作ったり、ジョイント部分にバランスストーンを使ったりすることで、親しみやすく楽しくトレーニングできる。 ・パーツを1mや50cm、円の直径を1mとし、測定や計算をしやすくする。 ・測定の協働活動、履修内容によつての課題別作業や学習を用意できる。</p>	<p>【見取り図】</p>  <p>※パーツ以外の、バランスストーンの高さは、測定や計算に入れないことを告げる。</p>
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランス運動に抵抗のある児童が、楽しみながら、コースを作成したり歩行したりすることができた。 ・平行と垂直、円周や半円、距離や道のりなどを紙面上だけでなく、体感することができたことから、身近な生活の中でも着目し見つける姿が見られた。 ・巻き尺の測定の仕方を、理解することができた。 ・異学年や履修学習に違いがある複数児童が、意欲的に協働活動や個別の課題学習に取り組むことができた。 <p>個人の目標に合わせて、バランス運動や操作・測定活動、算数の学習等、多様な場面で活用することができる。</p> <p>例： ・ボールを持って歩行する。 ・時間を測定し合う。 ・バランスストーンの高さも計算に入れる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 梱包用ビニール板(厚み・弾力有り) シールフェルト 滑り止めシート(裏面) バランスストーン</p>	